



2009年8月10日

号 外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988 (代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

明日の日本  
生活が第一

福島2区から日本を変える！

福島県第2区総支部

〒963-8021

郡山市桜木1丁目6-1

Tel.024-927-0713

Fax.024-933-0713

http://www.kazumi.ms

ota@kazumi.ms

# 太田かずみさんの訴えに共感広がる



今の生活を変える  
最大のチャンス。  
福島から日本を変えよう！

連日、街頭に立ち、民主党の政策を訴える太田かずみさん。政権交代を実現し、国民の国民による国民のための政治を実現させようと訴えています。それは、命と人間を大切に政治。お年寄りが安心して暮らせ、子どもたちが希望を持ち、青年が夢を抱ける、そんな当たり前の社会です。国の予算がないという理由だけで、国民に痛みばかりを押し付け、これまで受けられていたサービスをなくしていくような制度をつくり続けてきた自公政権。

2200億円の削減、日  
社会保障費を毎年  
本日の医療を壊して国民の生活を苦しめてきた一方、天下り団体に12兆円もの国費が流れていまます。この税金のムダ遣いをなくすることが私たち民主党が目指すもの。安心できる社会保障制度をつくれたうえで、可処分所得を2割増やしていくのが民主党の政策です。

政権交代。それは  
この国の政治を変え、  
希望に満ちた明日を  
取り戻すこと。



たくさんの地元のみなさんの声を聞くなかで、多く耳にするのは、年金や雇用の不安、これでは将来に希望を持ってないと訴える声。率直な声は国民の生活を第一に考える民主党の政策に盛り込まれてきました。



新年の集い（郡山市）には、鳩山由紀夫現民主党代表が来賓として駆けつけて熱弁



民主党福島県第2区総支部長として、二本松市で政策を訴える太田かずみさん



岡田克也民主党幹事長、増子輝彦参議院議員と政権交代実現を誓う



たくさんの市民の熱い期待と関心のなか、郡山駅西口広場で開かれた青空演説会



菅直人民主党代表代行、増子輝彦参議院議員とともに郡山市駅西口広場で演説会

## 2009マニフェストを発表

鳩

山由紀夫代表は7月27日、都内で開かれた「政権交代選挙にのぞむ2009民主党マニフェスト発表会」と題した記者会見で、約500人の報道陣に民主党の

政権政策を発表しました。

鳩山代表は、明治維新以来の「官僚主導の政治」から「国民が主役の政治」への大転換を果たすことが政権交代の目標であると表明。また、中央集権の政

治から地域主権の政治に切り替えるための五つの約束「ムダづかいの根絶、子育て・教育支援の拡充、年金・医療制度の充実、地域主権の実現、雇用・経済政策」と、政権構想を発表しました。

また、直嶋正行政策調査会長が、工程表（政策実現の年次表）、財源を説明しました。



記者会見で民主党の政権政策（マニフェスト）を発表する鳩山由紀夫民主党代表

# 政権交代。

暮らしのための政治を。あなたが、歴史をつくる。

# 政権交代でしか、 実現できない 日本がある。



民主党の政権政策の柱を紹介します。

## 変わるのは、あなたの生活です。 民主党の5つの約束

### 1. ムダづかい

国の総予算 207 兆円を全面組み替え。  
税金のムダづかいと天下りを根絶します。  
議員の世襲と企業団体献金は禁止し、衆院定数を 80 削減します。

### 2. 子育て・教育

中学卒業まで、1 人当たり年 31 万 2000 円の「子ども手当」を支給します。  
高校は実質無償化し、大学は奨学金を大幅に拡充します。

### 3. 年金・医療

「年金通帳」で消えない年金。  
年金制度を一元化し、月額 7 万円の最低保障年金を実現します。  
後期高齢者医療制度は廃止し、医師の数を 1.5 倍にします。

### 4. 地域主権

「地域主権」を確立し、第一歩として、地方の自主財源を大幅に増やします。  
農業の戸別所得補償制度を創設。  
高速道路の無料化、郵政事業の抜本見直しで地域を元気にします。

### 5. 雇用・経済

中小企業の法人税率を 11% に引き下げます。  
月額 10 万円の手当つき職業訓練制度により、求職者を支援します。  
地球温暖化対策を強力に推進し、新産業を育てます。

## 自民党政権4年間の失政！ 民主党中心の政権が現状を打開します。

自民党政権の4年間。暮らしはよくなりましたか？ あなたはいまの政治に満足ですか？  
4年前と比較したデータに示されているのは、まさに自民党政権の失政そのもの。官僚が主導するこれまでの政治システムや政策を続けていたのでは、この状況は変わりません。  
百年に一度という危機を一日も早く脱却し、国民の視点から希望に満ちた明日を取り戻すためにも、政権交代が必要なのです。

### 自民党政権の4年間を振り返ると…

- 4年間で 129 兆円以上の新たな借金
- 国と地方を合わせた借金は計 804 兆円
- 補助金や地方交付税を 5.1 兆円削減
- 中央省庁の権限は温存、分権は全く進まず
- 毎年 4500 団体に天下り／「天下りバンク」で温存
- 医療・年金の崩壊、弱者へのしわ寄せ
- 後期高齢者医療制度の導入
- 母子加算の打ち切り
- 障害者自立支援法を強行
- 年金制度改革は議論すらなし
- 郵政民営化に代表される看板倒れの「小泉改革」は、格差拡大を放置、この国の問題を山積みに

### 前回衆院選時と現在の経済・社会状況の比較

	2005 年当時	現 状
日経平均株価 (終値)	1 万 2896 円 43 銭 (05 年 9 月 12 日)	9652 円 02 銭 (09 年 7 月 21 日)
実質成長率 (年率)	3.2% (05 年 7 ～ 9 月期)	-14.2% (09 年 1 ～ 3 月期)
完全失業者数	294 万人 (05 年度)	347 万人 (09 年 5 月)
消費者物価指数の 対前年比伸び率	-0.1% (05 年 9 月)	-1.1% (09 年 5 月)
国債の発行残高	626 兆円 (05 年 3 月末)	680 兆円 (09 年 3 月末)
企業倒産件数	1 万 2998 件 (05 年)	1 万 5646 件 (08 年)
自殺者数	3 万 2552 人 (05 年度)	3 万 2249 人 (08 年度)
生活保護	147.6 万人 (05 年度)	159.3 万人 (08 年度)